



ファッションストリート、Via Manzoniに位置する「ARMANI Hotel Milano」の正面エントランス



「A」のロゴが印象的な1階エレベーター前の小粋なラウンジ



8階トップフロアに位置する「ARMANI/SPA」のエントランス

アルマーニの黒い制服が凛々しい  
ライフスタイル・マネージャー



筆者 小原康裕

ホテルジャーナリスト。  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年  
Munich Re入社。85年築地原健株代表  
取締役。2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテル  
レストランコンサルタント協会理事。  
※現在、著者のホームページで「世界のリー  
ディングホテル」を連載中。多くの美しい  
写真と興味深いコメントで、世界中の  
ホテルとそれら関連都市を紹介。  
[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)

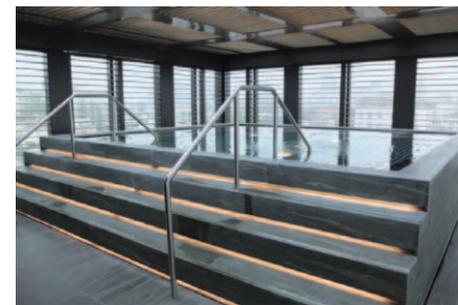
## アルマーニホテル ミラノ ARMANI Hotel Milano

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



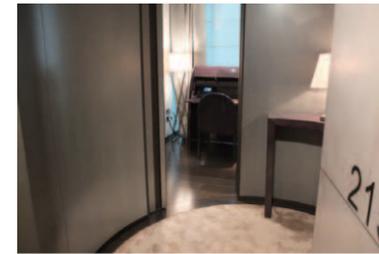
ミラノのファッションエリアで有名な「モードの四角形」[Quadrilatero della Moda] 地区の中央に位置する「ARMANI Hotel Milano」の全景。高級ブティックが軒を並べるモンテ・ナポレオーネ通りも至近距離だ



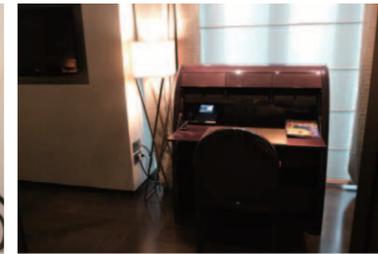
トップフロアのコーナーに用意された「天空のジャグジー」。ミラノの圧倒的眺望が得られる



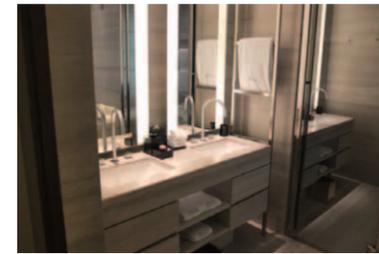
美しい曲線が印象的なリラクゼーション・チェアが並ぶ



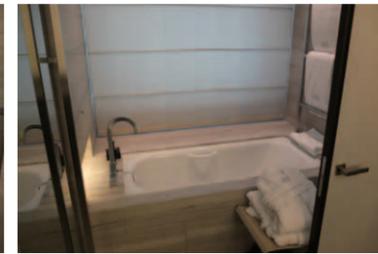
めずらしい円筒形の空間を採用した客室玄関ホワイエ



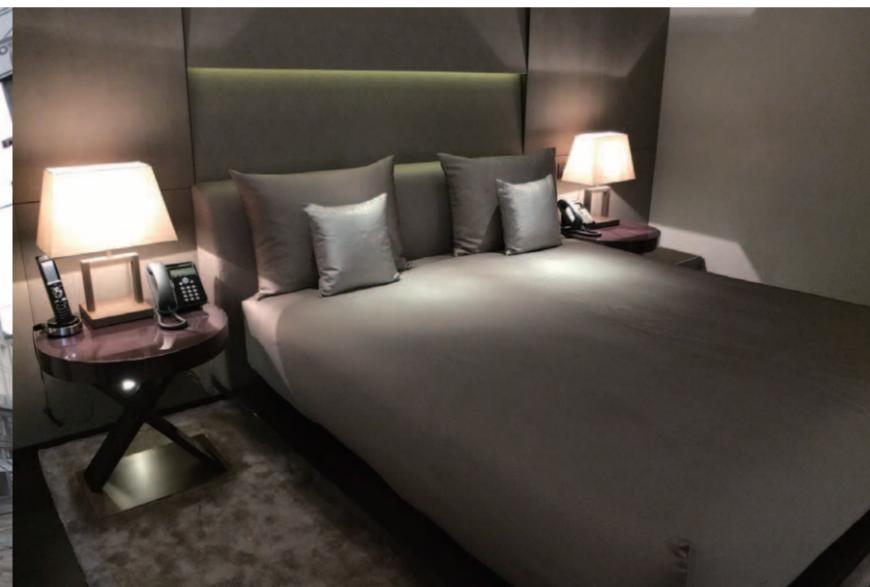
使い勝手の良いマルチユースのライティングビュロー



スタイリッシュなダブルシンク。タオル類はすべて「ARMANI」のロゴが入っている



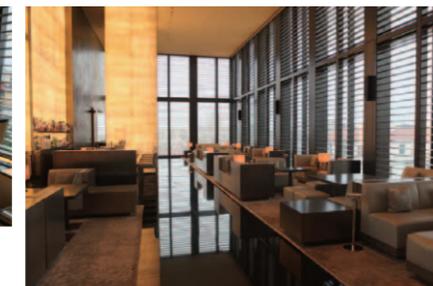
ビューバスタイプのバスルーム



いかにもアルマーニらしいクールな印象のベッドルーム。この部屋は「Armani Premiere Room」で約55㎡の広さがあり、ライティングビュローのあるリビングエリアと分かれている



メインダイニングの「Armani/Ristorante」



天井の高さを誇り全面ガラスの空間が美しい「Armani/Bamboo Bar」

ファッション界の帝王、ジョルジュ・アルマーニとドバイ屈指の不動産デベロッパー「エマール・プロパティーズPJSC」によって、中東ドバイに続き世界で2番目のアルマーニホテル&リゾート「アルマーニホテル ミラノ」が2011年11月にオープンした。場所はミラノのファッションエリアで有名な「モードの四角形」[Quadrilatero della Moda] 地区の中央に位置する「Manzoni 31」にある。この建物は1937年にイタリアの建築家、エンリコ・A・グリッフィーニによって建てられた歴史ある建造物で、内部をアルマーニ自身が考える究極の美学を具現化する空間に創り変えている。

ホテル建物は上空から見ると巨大なアルファベット「A」の形に見えるという。「A」の尖った頂点を平らに削った台形で、グリッフィーニの設計平面図からも読み取れ、偶然にしても運命的な組み合わせを予感させる。建物内にはエンポリオを始めアルマーニ・ブランドの高級ブティックが数多く展開しており、松久信幸氏のレストラン「NOBU」も店を構えて、1階のすしバーと2階のレストランは地元ミラネーゼでいつも賑わっている。すぐ隣の建物には「ARMANI/CASA」の大規模なインテリアブティックがあり、ホテル内のすべての内装はアルマーニ/カーザのインテリアコレクションから特別アイテムが使用され、アルマーニ流のデザイン哲学が細部まで注ぎ込まれている。

館内に一步踏み入るとその斬新なデザインコンセプトに驚く。すぐに右手にあるデスクからライフスタイル・マネージャーが対応し8階にあるラウンジに案内してくれる。エレベーター前ホールには、例の象徴的な「A」のロゴマークが印象的な小ラウンジが用意されている。8・9階はアルマーニ自身が「ガラスの帽子」と呼ぶ新設されたパブリックエリアになっており、全面ガラスのウォールからミラノの街をほいほいとした壮大な景色を楽しめる。8階にメインダイニング「Armani/Ristorante」と「Armani/Bamboo Bar」を併設したラウンジ「Armani/Lounge」があり、様々な用途に応じて贅沢に利用できる。9階トップフロアにはスパ「Armani/Spa」があって、特筆すべきはコーナーにある「天空のジャグジー」であろう。大きな浴槽から歴史的ドゥオーモから最新の高層建築まで壮大なミラノの全景を見渡すことが可能だ。客室はスイートを含めて全95室に抑えており、標準タイプのデラックスルームでも45㎡の広さを確保した余裕の造りだ。ドバイと同じドアノブのないスタイリッシュな客室エントランスを入ると、めずらしい円筒形のホワイエがゲストを迎えてくれる。続いてライティングビュローが置かれた空間の先に、ベッドルーム、ビューバスタイプの浴室へとゲストの高揚感を巧みに誘うレイアウトである。

アルマーニ・ホテル&リゾートは今後10年間に少なくとも10のホテル&リゾートを計画中という。レジデンス部門を含めてNY、ロンドン、東京、上海などの国際都市も候補に挙げられており、今後のラグジュアリーな世界展開が大いに楽しみである。